35012542-01

使いかたガイド　～ Blu-rayドライブ ～

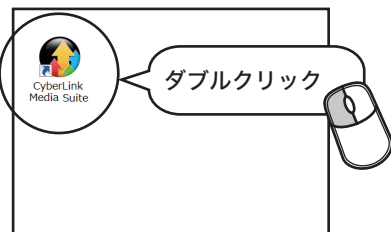
付属のCyberLink Media Suiteを使って、以下のように操作を行います。

注意　本紙に記載の手順は、操作の一例です。各ソフトウェアの使いかたは、ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照ください。
（本紙3ページ「CyberLink Media Suiteについて」参照）

ビデオ再生　Blu-ray DiscやDVD-Video※、動画データを再生しよう

使用ソフトウエア
PowerDVD

※本製品は、3D 映像の再生や DVD を高画質（フルハイビジョン）で再生するアップスケーリング再生機能を搭載しています。3D映像の再生やアップスケーリング再生機能を使用するには、次ページを参照してください。

1 デスクトップの　をダブルクリックします。

2 ［ムービープレーヤー］－［ムービーディスクの再生］をクリックします。

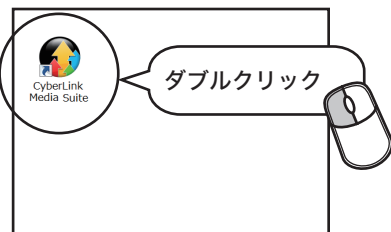
3 　をクリックし、再生するディスクを選択します。

詳細はヘルプをお読みください。

動画編集と オーサリング※　動画やビデオカメラの録画データを編集して､オリジナルディスクを作ろう

※動画データを Blu-ray Disc 形式や DVD-Video 形式に変換することです。市販の Blu-ray プレーヤーや DVD プレーヤーで再生できるディスクを作成できます。

使用ソフトウエア
PowerDirector

1 デスクトップの　をダブルクリックします。

2 ［動画］－［動画の編集］をクリックします。

3 素材（動画や静止画）を画面にドラッグ&ドロップし、編集します。

※編集する場合、手順はヘルプをお読みください。

※アップスケーリング保存する場合､4ページ｢SD 画質の動画を HD 画質に変換するには？［ アップスケーリング保存機能 (PowerDirector) ］｣をお読みください。

※オーサリングする場合、手順 4 へお進みください。

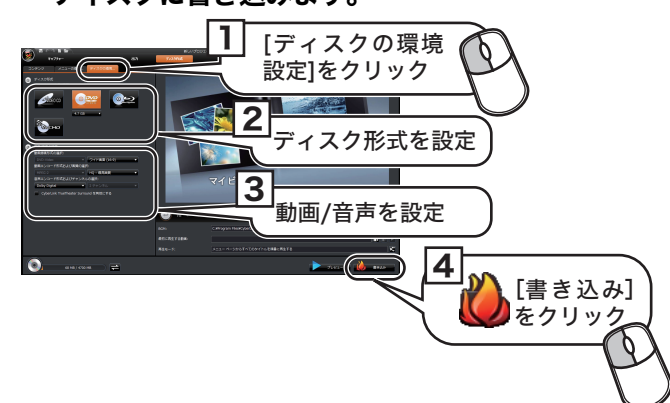
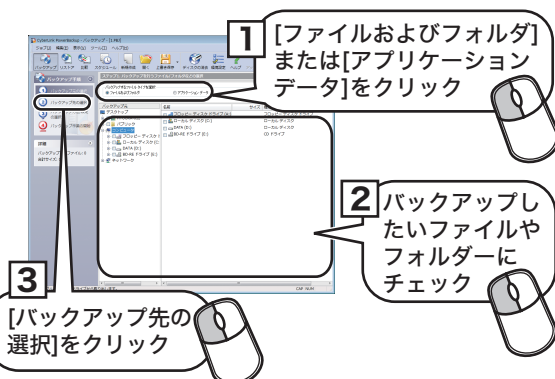
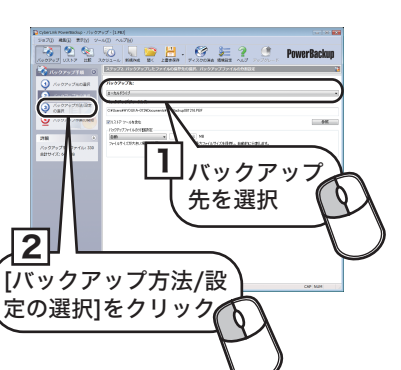
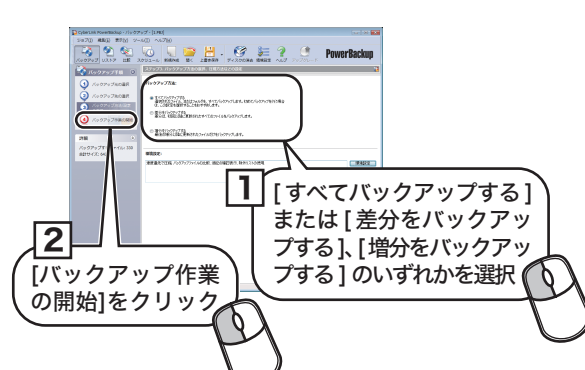
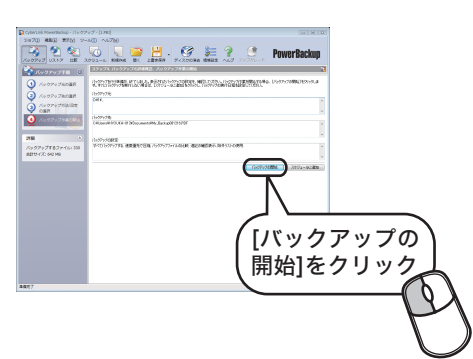
4 ディスクを作成します。

［ディスク作成］をクリック

5 コンテンツを設定します。

6 メニューを設定します。

［メニューの環境設定］をクリックし、必要に応じて設定

7 ［書き込み］をクリックして、ディスクに書き込みます。

※PowerProducerでもオーサリングできます。手順はヘルプをお読みください。

3D 映像で視聴するには？ 【 3D 機能 (PowerDVD) 】

3D 映像を見るには、3D に対応したディスプレイや、市販の 3D メガネが必要です。

PowerDVDは、3Dに対応した Blu-rayディスクの再生に対応しています。また、TrueTheater 3D機能で通常の DVDや動画ファイルを 3D映像で視聴することができます。3D映像で視聴する場合は、以下の手順で設定してください。

❶ [スタート] − [(すべての) プログラム] − [CyberLink Media Suite] − [PowerDVD] − [CyberLink PowerDVD] を選択します。

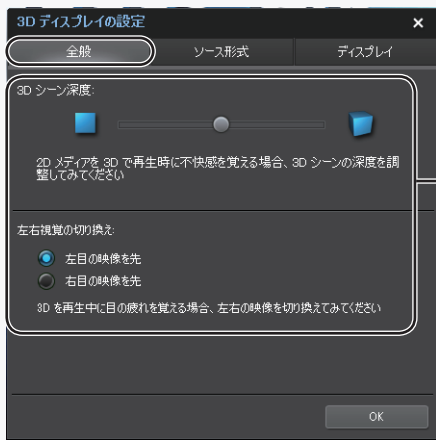
❷

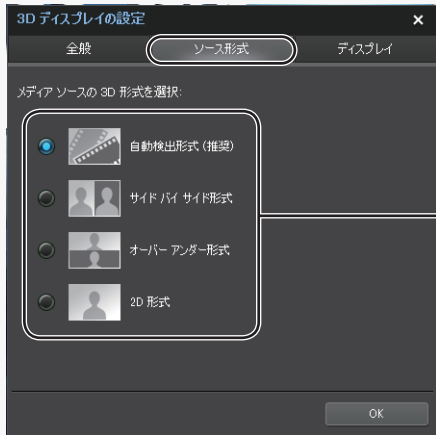
3D ボタンをクリックして、3D 再生を有効にします。

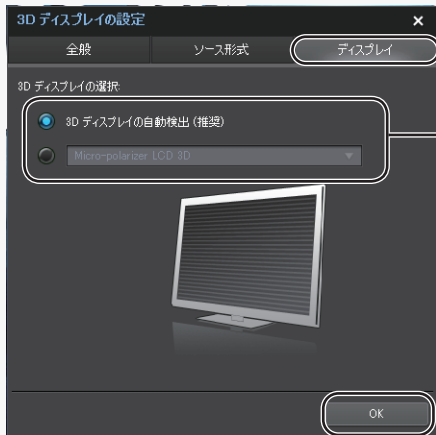
※ 3D のように表示されている場合、3D 再生は有効です。

❸ ▼ボタン (3D ボタンの隣) をクリックして、[3D ディスプレイの設定] ウィンドウを表示します。

❹ ※[3D ディスプレイの設定] ウィンドウの各項目の詳しい説明は右記の表をご覧ください。

[全般]タブ：

① 各項目を設定します。

[ソース形式]タブ：

② 3D 映像形式を設定します。

[ディスプレイ]タブ：

③ 3D ディスプレイの種類を選択します。

④ 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

以上で、設定完了です。

※各項目の詳しい説明は、以下の表をご覧ください。また、PowerDVD のヘルプにも設定項目の説明が記載されていますので、あわせてお読みください。

3D ディスプレイの設定

全般

3D シーン深度：
映像の深さを調整します。

左右視覚の切り換え：
3D 映像を見て目の疲れを感じた場合は、[左目の映像を先]、または [右目の映像を先] を切り替えて映像の調節を行ってください。

ソース形式

3D 映像が正常に表示されない場合、3D 映像形式を設定します。

メディアソースの 3D 形式を選択：
・[自動検出形式 (推奨)]
3D 映像の形式が不明な場合に選択すると、自動的に検出されます。
・[サイド バイ サイド形式]
2 つの映像が左右に表示される場合 (サイドバイサイド)、このオプションを選択してください。3D 効果を作り出します。
・[オーバー アンダー形式]
2 つの映像が上下に表示される場合 (Above/Below)、このオプションを選択してください。3D 効果を作り出します。
・[2D 形式]
2D モードの映像を CyberLink TrueTheater を使って 3D に変換する場合、このオプションを選択します。

ディスプレイ

3D ディスプレイの選択：
お使いのディスプレイを選択します。
・[3D ディスプレイの自動検出 (推奨)]
3D デバイスを自動的に検出します。3D ディスプレイを接続していない場合は、アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って映像を 3D で視聴します。
・[アナグリフ 赤青]
アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って映像を 3D で視聴します。
・[3D-Ready HDTV]
3D 対応予定のハイビジョンテレビを接続している場合に選択します。
・[Micro-polarizer LCD 3D]
偏光式の 3D ディスプレイを接続している場合に選択します。
・[120Hz Time-sequential 3D LCD]
120Hz の 3D ディスプレイを接続している場合に選択します。

メモ
ディスプレイの種類が不明な場合は、[自動検出] をクリックしてください。自動的にディスプレイの種類を判別します。

DVDを高画質(フルハイビジョン)で再生するには？ 【 アップスケーリング再生機能(PowerDVD) 】

この機能は、本製品の動作環境に加え、Intel Core2 Duo 1.5GHz 以上、AMD Turion 64 X2 1.8GHz 以上の CPU 推奨です。

本製品には、DVD の映像や動画ファイル (※) を高画質で再生するアップスケーリング再生機能が搭載されています。アップスケーリング再生機能とは、SD 画像 (480P) をフルハイビジョンの HD 画像 (1080P) に変換して再生する機能です。
DVD 映像を Blu-ray 映像に迫る高画質で鑑賞することができます。初期設定では、アップスケーリング再生機能は無効になっていますので、以下の手順で有効にしてください。

※アップスケーリング対応の動画ファイル拡張子
ASF, AVC, AVI, DAT, DIV, DV, EVO, M1V, M2P, M2TS, M2V,MOD, MOV, MP4, MPA, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, RMX, TIVO, TOD, TRP, TP, TS, VC1, VOB, VRO, WTV
• DVR-MS, WMV, Div, DivX は非対応

注 意
DVD 等の再生中は、設定を変更できませんので停止させてから、設定を行ってください。

❶ [スタート] − [(すべての) プログラム] − [CyberLink Media Suite] − [PowerDVD] − [CyberLink PowerDVD] を選択します。

❷

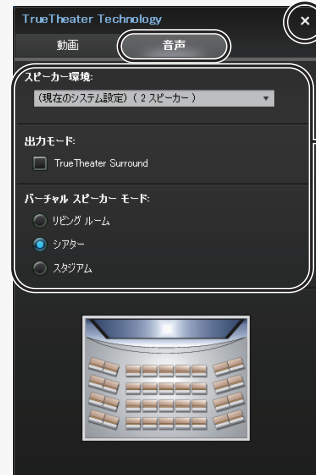
ボタンをクリックします。

❸ **[動画]タブ：**

①[自動調整] のチェックを外し、各項目を設定してください。
※TrueTheater の設定を自動的に設定したい場合は、[自動調整] にチェックを入れてください。

・アップスケーリング機能を有効にしたい：
[TrueTheater HD] にチェックします。
・ブライトネスを自動的に最適な環境に調節する (ブライトネスの最適調整機能)：
[TrueTheater Lighting] にチェックします。
・再生画面を滑らかにしたい (アップサンプリング機能)：
[TrueTheater Motion] にチェックします。
(フレームレートを 24fps→60fps にします)
・映像ノイズを低減したい (ノイズ リダクション機能)：
[TrueTheater Noise Reduction] にチェックします。
・手ぶれのある映像を補正したい：
[TrueTheater Stabilizer] にチェックします。

右上につづく

[音声]タブ：

②各項目を設定します。

③設定が完了したら、☒ をクリックして画面を閉じます。

・スピーカー環境：
お使いのスピーカー環境を選択します。
・出力モード：
音声効果を有効にする場合、[TrueTheater Surround] にチェックします。
・バーチャル スピーカー モード：
[リビング ルーム]、[シアター]、[スタジアム] から選択します。

以上で、設定完了です。

メモ
アップスケーリング機能の効果を確認するには、[TrueTheater ディスプレイモード] を設定すると便利です。アップスケーリング機能を適用する前と後の画面を並べて表示したり、分割して表示したりすることができます。

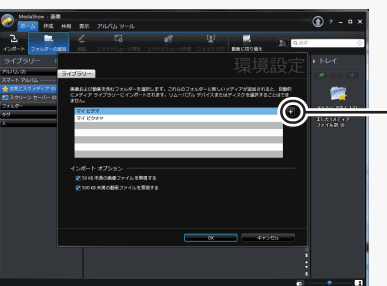
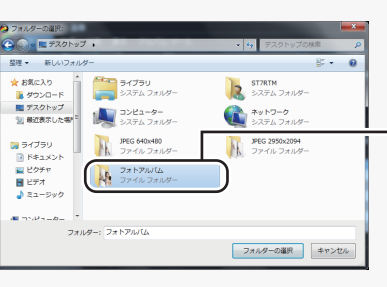
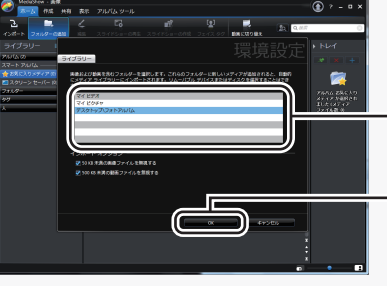
①設定したいモードを選択します。

② ☒ をクリックして画面を閉じます。

TrueTheater ディスプレイモード：

 アップスケーリング機能を適用後の映像を通常通り表示します。

 ひとつの場面を中央で左右に 2 分割します。左側にアップスケーリング機能を適用前の映像を、右側に適用後の映像を表示します。

 左右 2 画面に同じ場面を表示します。左側にアップスケーリング機能を適用前の映像を、右側に適用後の映像を表示します。

自動的に人物別に写真を分類する【フェイスタグ機能(MediaShow)】

ビデオや写真の編集・管理をするソフトウェアです。本製品には、大量の写真に写っている顔を判別して、自動で写真の整理ができるフェイスタグ（顔認証）機能が搭載されています。

MediaShow に写真を追加する

以下の手順で写真を追加してください。

❶ デスクトップの アイコンをダブルクリックします。

❷
①[画像] をクリックします。

②[画像の管理] をクリックします。

❸
[フォルダーの追加] をクリックします。

❹
＋ ボタンをクリックします。

❺
写真が保存されている任意のフォルダーを選択します。

※画面は「フォトアルバム」フォルダーを追加する場合です。

❻
①ライブラリーに追加されたことを確認します。

②[OK] をクリックします。

❼ MediaShow に写真が追加されます。

以上で、設定完了です。

人物別に写真を分類する

写真に写っている顔を認証して、人物別に写真を分類します。

❶
[フェイスタグ] をクリックします。

❷
①[全画像から顔をタグ] または [指定画像から顔をタグ] のいずれかを選択します。

②[開始] をクリックします。

❸
[次へ] をクリックします。

❹ 写真が人物別のタグに分けられます。

以上で完了です。

人物別に分けられたタグに名前をつける

以下の手順でタグに名前をつけられます。

❶
[選択] をクリックし、任意の名前を入力します。

❷ 写真に名前のついたタグが追加されます。

以上で、設定完了です。

CyberLink Media Suite について

本紙では、CyberLink Media Suite に収録されたソフトウェアの概要をご案内します。詳細は、各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照ください。

重 要

Blu-ray メディアの映像編集 / 鑑賞をするには、パソコンの OS や CPU などに制限があります。詳しくは、仕様をご確認ください。

起動方法

以下の手順で起動してください。

注 意

- 画面は、お使いの OS によって異なります。
- 初めて起動する場合など、サイバーリンク社のユーザー登録画面が表示されることがあります。そのときは、画面に従ってユーザー登録してください。

❶ デスクトップの アイコンをダブルクリックします。

❷
画面右下の アイコンをクリックすると、起動するソフトウェアを選択できます。

※画面下のアイコンからジャンルを選んでソフトウェアを起動することもできます。

＊お気に入りのメニューは、ご自分で設定できます。詳しくは、画面右上の ? をクリックし、ヘルプを参照してください。

❸
起動するソフトウェアを選択します。

※ソフトウェアの概要は、右にある「ソフトウェアの概要」を参照してください。

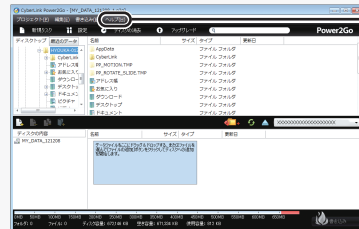
ソフトウェアが起動します。以降は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルを参照して操作を行ってください。
ソフトウェアのヘルプやマニュアルの表示方法は、下の「使いかた（マニュアルやヘルプの表示方法）」を参照してください。

以上で、完了です。

使いかた（マニュアルやヘルプの表示方法）

画面の [？] または [ヘルプ] をクリックするか、[スタート] ー [（すべての）プログラム]ー[CyberLink Media Suite]ー[（ソフトウェア名）] にあるヘルプやマニュアルを参照してください。

■ソフトの画面から表示させる場合

画面の [？] または [ヘルプ] をクリックします。

[ヘルプ]ー[ヘルプ] をクリックすると、ヘルプが表示されます。

※画面は Power2Go の場合の例です。

■[スタート] メニューから表示させる場合

[スタート] ー [（すべての）プログラム]ー[CyberLink Media Suite]ー[（ソフトウェア名）] にあるヘルプやマニュアルを選択します。

ソフトウェアの概要

CyberLink Media Suite は、ディスクの再生、ディスクへの書き込み、映像編集など各用途に適したソフトウェアを収録したソフトウェアパッケージです。ここでは、収録されたソフトウェアの概要を説明します。

注 意

- CPRM 保護されたディスクの再生、編集をするにはインターネット接続による認証が必要です。
- 「1 回だけ録画可能 (コピーワンス)」データを録画した、または「ダビング 10」でムーブした CPRM 対応メディアの再生をデジタル出力 (DVI/HDMI) するには、HDCP 対応 VGA カードと HDCP 対応モニターが必要です。

映像（映画など）ディスクの再生や、DVD レコーダーなどで録画したディスクを再生するには

<PowerDVD>

(BDXL 対応 /Blu-ray 3D& 擬似 3D 再生 / アップスケーリング再生対応)

映像ディスクの再生ソフトウェアです。Blu-ray メディア (BDXL メディアを含む) の映像コンテンツや DVD-Video、市販の DVD レコーダーで録画したディスクなどを再生することができます。また、BD/DVD レコーダーで録画された AVCREC 形式のディスクの再生や、インターネットを使用して BD ディスク (BD-Live 付) のコンテンツにアクセスできるサービス「BD-Live (Blu-ray Disc Profile 2.0)」、Intel、NVIDIA、ATI の各グラフィックカードに最適化して低い CPU 使用率でストレスのない影像を楽しむことができる「グラフィックボードの再生支援機能 (ハードウエアアクセラレーション)」に対応しています。

BD-Live (Blu-ray Disc Profile 2.0) について
本製品は、BD-Live に対応しています。BD-Live とは、Blu-ray ディスクの新しい機能で、インターネットを使用して BD ディスク (BD-Live 付) のコンテンツにアクセスできるサービスです。BD-Live 対応ディスクで、多様な最新のコンテンツ（最新の予告編、BD-Live だけの特典やイベントなど）のダウンロードや、画期的なインタラクティブ機能を使ったコンテンツを鑑賞できます。使用方法は、BD-Live 対応のディスクをご覧ください。

パスワード保護（暗号化）したディスクの作成や、音楽 CD の作成、ディスクをコピーするには

<Power2Go>(BDXL 対応)

データディスクや音楽 CD などを作成するソフトウェアです。作成するディスクを暗号化する機能も備えています。暗号化されたデータの読み出しにはパスワードが必要となるため、万が一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。

本製品を選択してお使いください。

映像の編集をしたり、SD 画質の映像を HD 画質にアップスケーリングして、AVCHD や Blu-ray ディスクの作成をするには

<PowerDirector(アップスケーリング保存対応)>

動画編集をしたり、市販の Blu-ray プレーヤーで再生可能な Blu-ray ディスク（BDAV 形式や BDMV 形式）の作成や、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。AVCHD 形式のハイビジョン DVD ディスク作成も可能です。PSP®や iPod で再生可能な MPEG4 ファイルの作成も可能です。

※PSP®「プレイステーション・ポータブル」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
※本製品は、株式会社バッファローのオリジナル製品であり、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス商品ではありません。
※PSP®システムソフトウェアは、随時提供するバージョンアップによって様々な機能追加やセキュリティーの強化を行っております。お客様がお持ちの PSP®バージョンをご確認のうえ、常に最新版にアップデートしてご利用ください。PSP®システムソフトウェアの情報やアップデート方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ（www.jp.playstation.com/psp/）をご覧ください。
※iPod は、米国ならびにその他の国において登録されている米国アップルコンピュータ社の商標です。

映像をディスクに保存する（オリジナル映像ディスクの作成）、DVD レコーダーで録画した映像を編集するには

<PowerProducer>

高画質のハイビジョンデジタルビデオカメラで撮影した HD 映像をキャプチャーしたり、市販の Blu-ray プレーヤーで再生可能な Blu-ray ディスク（BDAV 形式や BDMV 形式）の作成や、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。AVCHD 形式のハイビジョン DVD ディスク作成も可能です。

パソコンのデータを自動的にバックアップするには

<PowerBackup>

データのバックアップソフトウェアです。起動ドライブの環境をバックアップすることもできます。バックアップするデータを DVD や CD に保存したいときにお使いください。

パソコンのデータをディスクに保存するには

<InstantBurn>

ハードディスクや USB メモリーのようにファイル単位でデータを書き込むことができるソフトウェアです。

オリジナル DVD-Video の作成やビデオ、写真の管理、編集をするには

<MediaShow>

ビデオや写真の編集・管理をするソフトウェアです。メニュー、ディスクタイトル、音楽を付け加えるなど、お好みに合わせたオーサリング（DVD-Video の作成）が可能です。また、写真を Windows のスクリーンセイバーと利用したり、動画を Web で公開することもできます。その他、大量の写真に写っている顔を判別して写真整理のできる「フェイスタグ」機能も備えています。

※MediaShow がサポートするビデオ形式（ビデオフォーマット）、画像形式（画像フォーマット）は以下のとおりです。

ビデオ形式：DV-AVI、MPEG-1、MPEG-2、DVR-MS、WMV
画像形式　：BMP、JPEG、PNG

SD 画質の動画を HD 画質に変換するには？【アップスケーリング保存機能 (PowerDirector)】

本製品には、動画を高画質に変換するアップスケーリング保存機能が搭載されています。アップスケーリング保存機能とは、SD 画像 (480P) をハイビジョンの HD 画像 (1080P) に変換し、ファイルとして保存したり、ディスクに書き込む機能です。
SD 映像を Blu-ray 映像に迫る高画質に変換することができます。以下の手順で操作してください。

❶ [スタート]−[（すべての）プログラム]−[CyberLink Media Suite]−[PowerDirector]−[CyberLink PowerDirector]を選択します。

❷
①をクリックします。
②素材（SD 動画）を画面にドラッグ＆ドロップします。

注 意

この画面が表示されたら、[なし] をクリックしてください。
[OK] をクリックすると、HD 画質に変換できません。

❸
①[編集] をクリックします。
②[補正 / 強調] をクリックします。
③[ビデオエンハンスメント] にチェックします。

メ モ

変換した HD 動画をディスクへ書き込むには、オーサリングする必要があります。オーサリングするには、前ページ「動画編集とオーサリング」の手順４へ進んでください。

❹
①[出力]をクリックします。
②[ファイル]をクリックします。
③ファイル形式を選択します。
④HD画質のプロファイルを選択します。
⑤[開始]をクリックします。

以上で、変換完了です。

傷や汚れのついたメディアの読み取りについて

本製品には、以下の機能があり、傷や汚れのついたメディアでも停止することなく読み取りを行うことができます。

注 意

全てのメディアに対して読み取りを保証するものではありません。

PowerRead機能(PowerDVD)

Blu-ray DiscやDVD-Video再生時にメディアの読み取りエラーが発生した場合、再生を停止せずに次のデータを読み取る機能です。DVDプレーヤーなどで停止してしまうメディアでも、停止することなく再生を行うことができます。PowerRead機能は、PowerDVDで再生しているときに自動的にONになります。

PURE READ機能(Power2Go)

音楽CDの読み出しエラーが発生した場合、ディスク状況を自動判断、自動調整し、最適な再読み取りを行うことで、エラーデータによるデータ補間の発生を低減する機能です。よりオリジナルに近いデータの読み取りを行うことができます。PURE READ機能は、Power2Go(ライティングソフトウェア)と連携して動作し、以下の3つの設定から選択できます。設定を変更する場合は、Power2Goの画面で「プロジェクト」-「環境設定」を選択し、画面上にある「詳細」をクリックしてください。

①[パーフェクトモード]、[マスターモード]、[標準モード]のいずれかを選択します。
②[OK]をクリックします。

・パーフェクトモード（PURE READ機能ON）
音楽CD読み取り中に傷や汚れによるリードエラーが発生した場合、自動調整を行い、再度読み取りを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、エラーを返し、読み取り動作を停止します。同ディスクで再度読み取りを行う場合は標準モード、もしくはマスターモードに設定を変更して再度読み取りをしてください。

・マスターモード（PURE READ機能ON）
音楽CD読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、自動調整を行い再度読み込みを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。

・標準モード（既定）（PURE READ機能OFF）
音楽CDの読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。

デスクトップ書き込みガジェットについて【Power2GO】

デスクトップ書き込みガジェットを起動すると、データディスクの作成、音楽ディスクの作成、ディスクのコピーがデスクトップのデスクトップ書き込みガジェットアイコンから行えるようになります。デスクトップ書き込みガジェットは、[スタート]−[(すべての)プログラム]−[CyberLink Media Suite]−[Power2Go]−[デスクトップ書き込みガジェット]の順に選択すると起動します。詳しくは、Power2Goのヘルプを参照してください。

データディスク作成用のアイコンです。ここにデータをドラッグ ＆ ドロップし、アイコン右下のをクリックすると、データディスクを作成できます。

音楽ディスク作成用のアイコンです。ここに音楽データをドラッグ ＆ ドロップし、アイコン右下のをクリックすると、音楽ディスクを作成できます。

ディスクコピー用のアイコンです。アイコン右下のをクリックすると、ディスクのコピーを作成できます。

※をクリックするとパソコン内蔵ドライブのトレイが出てくるときは？
書き込み用ドライブにパソコン内蔵のドライブが設定されています。デスクトップ書き込みガジェットアイコンを右クリックして、ドライブを変更してください。

CyberLink Media Suite のご質問、お問い合わせ先

お問い合わせ先 サイバーリンク株式会社
電　話 0570-080-110 (一般電話)
03-5205-7670 (PHS、一部 IP 電話など)
受付時間 10:00～13:00　14:00～17:00
(土日祝日、サイバーリンク社休業日を除く)
インターネット http://support.jp.cyberlink.com

※ソフトウェアのユーザー登録は必ず行ってください。

ドライブ本体、DiXiM BD Burner for BUFFALO のご質問、お問い合わせ先

別紙「らくらく！セットアップシート」に記載の株式会社バッファローサポートセンターへお問合せください。

使いかたガイド ～ Blu-rayドライブ ～　2012年3月15日　初版発行　発行／株式会社バッファロー